

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 検定協議会
活動テーマ	キッズ防災検定



【目的・動機】

阪神淡路大震災の経験と教訓を活かし、日々の生活の中で防災に関する知識を楽しみながら高め、災害時に的確に周囲の状況を判断し、行動できる力を身に着けることを目的としています。

防災について学ぶことで、災害が起きたとき、自助、共助、公助が連携し、被害を少なくする事ができます。

そのためには、一人ひとりの防災意識を高めること、知識を身につける事が必要になってきます。

その為には、一人ひとりの防災意識を高めること、必要な知識を身につける事が必要となってきます。

また、阪神淡路大震災の経験を風化させずに伝えていく事は重要であります。

そこで、小学生の子ども達に防災に関する知識を身に着け、意識を高めていくことを目的にキッズ防災検定を実施しています。

【活動内容】

兵庫県下の小学校に FAX で告知し、申込みのあった各小学校で実施します。受検料は無料で認定証も発行します、問題は低学年、中学年、高学年でそれぞれの学年にあった防災や災害時の対応について出題しています。

【活動成果】

阪神淡路大震災での経験・教訓をキッズ防災検定を通して子ども達に伝え、防災に関する知識を身につける事ができます。2011年3月に起きた東日本大震災では、東北・関東に甚大な被害をもたらしました。

また、近年発生 of 切迫性が指摘されている今、防災教育の価値・必要性は益々高まっています。

キッズ防災検定をきっかけに、災害対策に必要な事が何であるかを知り、子どもたちに防災の知識と意識を定着させることや、震災で得た知識や経験を色あせることなく子ども達へ受け継がれる事が期待されています。